



「ノート オーラ」が2021～2022日本自動車 殿堂において「カーオブザイヤー」を受賞

「Be-1」が歴史遺産車に選定
日産自動車株式会社

2021年11月08日

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：内田 誠）は特定非営利活動法人 日本自動車殿堂が主催する「2021～2022日本自動車殿堂 カーオブザイヤー」において、本日11月8日（月）に「ノートオーラ」が「カーオブザイヤー」を受賞したと発表しました。



受賞理由（※1）として、品位あるきめ細やかな上質感を持つ先進コンパクト、高い遮音技術とプライベート音響空間の創造、第2世代e-POWERによる高い静粛性と走行性の3点が高く評価されました。

本年8月にプレミアムコンパクトとして新規投入した新型車「ノート オーラ」は、細部に至るまで”上質”にこだわったインテリアや、最高出力100kw、最大トルク300Nmのスムーズで力強い走りの第2世代「e-POWER」に加えて、クラスを超えた静粛性と国内初採用の「BOSEパーソナルプラスサウンドシステム」の組み合わせが、多くのお客さまから好評を得ており、発売から2ヶ月半で2万台の受注を突破いたしました。（※2）

また、1987年に発売され、限定台数を超える多くの受注が殺到した「Be-1」が「レトロモダン」と呼ばれるデザインを編み出し、バイクカーと呼ばれるジャンルを確立したことなどが評価され、歴史遺産車に選定されました。



Be-1

※1 特定非営利活動法人 日本自動車殿堂の授賞理由から引用

※2 受注台数：20,061台（10月29日時点 日産調べ）